

## 保健 <各1点×25問>

(1) 次の文の(ア)～(ナ)と(a)～(c)にあてはまる語句を答えなさい。また、(a)～(c)はカタカナで答えなさい。

- 私たちの体の適応能力の働きは、周囲の(ア)の影響を受けることによって高まっていくものであるが、適応能力には(イ)がある。暑さや寒さの感じ方は(ウ)や気流、気温に左右される。活動するのに最も適した温度の範囲である(エ)には個人差があり、活動の種類や(オ)、衣服の状態によっても異なる。
- 十分な明るさのない場所での作業や学習は(カ)の疲れ、能率の低下、(キ)の低下につながるため、自然の光をカーテンや(ク)などで調節し、(ケ)な明るさで作業や学習をする必要がある。
- 呼吸や、物の燃焼などで発生した二酸化炭素の空気中の濃度が高まり、(コ)が不足すると、(サ)数や呼吸数が増加し、めまいや頭痛などの症状が現れる。一酸化炭素は物が(シ)したときに発生し、吸い込むと体の酸素が欠乏して、一酸化炭素中毒を引き起こす。空気をきれいに保つためには、計画的な(ス)や器具の点検などが必要である。
- 人間にとって水分は(セ)や栄養物質の運搬、老廃物の排出や(ソ)調節に用いられ、(タ)の維持に必要なものである。水の利用には、生活用水、公共用水、(チ)用水などがある。日本では、(ツ)水道の水は浄水場で(テ)基準を満たしていることが確認されてから供給される。日本では水の使用が多く、水不足になることがあるため、(ト)の再利用などの取り組みが重要である。
- ごみ問題の発生により、大量生産や大量消費への見直しがされてきた。ごみの発生抑制をする(a)、再使用する(b)、再生利用を行う(c)からなる3Rが社会では推進され、これらに個人や企業などが取り組むことによって、(ナ)型社会を目指していくことが必要である。

(2) 次の文を読んで、Bさんの行為は、3Rのうちどれにあたるか答えなさい。<1点>

Bさんは、買い物に行ったときに、  
買ったものを自分で持ってきたバッグに入れて持ち帰るようにしています。

問題は以上です。よく見直しましょう。

保健 <25点>

(1)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
	環境	限界	湿度	至適温度	季節	目
	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
	視力	照明	適切	酸素	脈拍	不完全燃焼
	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ
	換気	酸素	体温	生命	産業	上
	テ	ト	ナ	a	b	c
	水質	排水	循環	リデュース	リユース	リサイクル
(2)	リデュース					